



2015年9月9日

各 位

会社名 新華ホールディングス・リミテッド
(URL : www.xinhuaholdings.com)
代表者名 最高経営責任者 (CEO)
レン・イー・ハン
(東証第二部 コード番号 : 9399)
連絡先 経営企画室マネージャー
高山 雄太
(電話 : 03-4570-0741)

子会社の異動及び転換社債の譲渡手続完了に関するお知らせ

新華ホールディングス・リミテッド（以下「当社」といいます。）は、2015年1月15日付のプレス・リリース「GINSMS Inc.の54.57%の株式の取得（子会社の異動）に関するお知らせ」（以下、「2015年1月15日付プレス・リリース」といいます。）にてお知らせした、カナダのトロント・ベンチャー証券取引所（以下、「TSX-V」といいます。）に株式を上場しているGINSMS Inc.（本社：カナダ・アルバータ州。証券コード:GOK。以下、「GINSMS」といいます。）の54.57%の株式を取得する全ての手続が現地にて2015年9月8日付（サマータイム期間におけるカナダのトロントと日本の時差は、日本時間からマイナス13時間です。）にて完了し、当社の完全子会社であるXinhua Mobile Limited（以下、「新華モバイル」といいます。）の子会社となり、2015年9月8日付で当社グループの連結子会社となりましたのでお知らせします。また、新華モバイルは、同日付でGINSMSが発行した額面金額6,255,484カナダドル（572,939,780円）の無担保転換社債（以下、「転換社債」といいます。）の保有者として正式に登録されました。転換社債の概要及び取引の詳細については、2015年5月1日付のプレス・リリース「第三者割当（デット・エクイティ・スワップ）による新株式発行及びGINSMS Inc.の転換社債の取得に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 異動する子会社の概要

(1) 名称	GINSMS Inc.
(2) 所在地	カナダ アルバータ州 カルガリー スイート 1900 9 th アベニューSW 215
(3) 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer ジョエル・チン (Joel Chin) (以下、「チン氏」といいます。)
(4) 事業内容	クラウド・ベース A2P メッセージング・サービス及びソフトウェア製品・サービスを提供する。 カナダ、香港、シンガポール、マレーシア及びインドネシアに事業所を有する。
(5) 資本金	1,339,386カナダドル (122,674,364円) (2015年6月30日時点)
(6) 設立年月日	2009年3月20日

(7) 大株主及び持株比率	Xinhua Mobile Limited : 54.57% その他の株主はすべて個人でその持株比率は、10%未満となります。 TSX-V における規則では、持株比率が 10%未満の株主情報は、開示義務がありません。					
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	上記 (7) のとおり				
	人的関係	レン氏は、2013 年 4 月 15 日まで GINSMS の社外取締役でしたが、同日付で辞任届を提出し、同月 30 日同社取締役会から退任について正式に承認されましたので、現在は当社と GINSMS との間に人的関係はありません。				
	取引関係	該当なし				
	関連当事者への該当状況	GINSMS の現在の CEO であるチン氏は、当社 CEO のレン氏のいとこに当たります。				
(9)	当該会社の最近 5 年間の連結経営成績及び連結財政状態					
決算期		2015 年 3 月期	2014 年 3 月期	2013 年 3 月期	2012 年 3 月期	2011 年 3 月期
連結総資産	千カナダドル (百万円)	2,083 (191)	4,952 (454)	6,686 (612)	884 (81)	1,257 (115)
連結純資産	千カナダドル (百万円)	△10,064 (△922)	△3,222 (△295)	△371 (△34)	726 (66)	1,148 (105)
1 株当たり連結純資産	カナダドル (円)	△0.20 (△18.32)	△0.06 (△5.50)	△0.01 (△0.92)	0.02 (1.83)	0.03 (2.75)
連結売上高	千カナダドル (百万円)	1,906 (175)	1,131 (104)	1,303 (119)	687 (63)	786 (72)
連結営業利益	千カナダドル (百万円)	△1,881 (△172)	△1,639 (△150)	△952 (△87)	△492 (△45)	△90 (△8)
連結経常利益	千カナダドル (百万円)	△3,514 (△322)	△2,971 (△272)	△1,543 (△141)	△492 (△45)	△90 (△8)
連結当期純利益	千カナダドル (百万円)	△6,776 (△621)	△2,972 (△272)	△1,535 (△141)	△494 (△45)	△97 (△9)
1 株当たり連結当期純利益	カナダドル (円)	△0.13 (△11.91)	△0.06 (△5.50)	△0.04 (△3.66)	△0.01 (△0.92)	△0.00 (△0.20)
1 株当たり配当金	カナダドル (円)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

※△はマイナスを意味します。

2. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式	0 株 (議決権の数 : 0 個) (議決権の所有割合 : 0.00%)
(2) 取得株式数	28,123,320 株 (議決権の数 : 28,123,320 個)
(3) 取得価額	GINSMS の普通株式 7.8 百万カナダドル (714 百万円) アドバイザリー費用等 (概算額) 0.2 百万カナダドル (18 百万円) 合計 (概算額) 8.0 百万カナダドル (733 百万円)
(4) 異動後の所有株式数	28,123,320 株 (議決権の数 : 28,123,320 個) (議決権の所有割合 : 54.57%)

3. 転換社債及び GINSMS の現在の財務状況について

GINSMS は、2012 年 9 月 28 日に Inphosoft Group Pte. Ltd (以下、「Inphosoft」といいます。) の株式の全てを取得した際、当該買収の対価である 11.3 百万カナダドル (1,035 百万円) の一部として、当時 Inphosoft の親会社であった Inphosoft Pte. Ltd. (以下「IPL」といいます。) に対して 2015 年 9 月 28 日を満期とする額面総額 10.5 百万カナダドル (962 百万円) で、0.1 カナダドルにて GINSMS の普通株式 1 株に転換可能な転換社債を発行しました。2013 年 8 月 8 日に GINSMS は、Inphosoft の財務結果が目標としていた利益を達成できなかったため、当該転換社債の額面総額を 9.1 百万カナダドル (833 百万円) に減額した旨を開示しました。

2012 年 9 月 28 日における当該転換社債の公正価値は 5 百万カナダドル (458 百万円) であり、額面金額との差額は 4.2 百万カナダドル (385 百万円) でした。国際財務報告基準に従い、当該転換社債は、連結貸借対照表上、公正価値で計上され、その後満期日までに額面金額に近づけるため、計上額が調整されます。また当該連結貸借対照表上の調整額は、連結包括損益計算書上では、ファイナンス費用として計上されます。

当社は、2015 年 1 月 15 日付プレス・リリースの第 13 項において、GINSMS が債務超過となっている主要な原因は、同社が発行している当該転換社債の存在によるものであり、当該転換社債の所有者らが、当時の計画として、転換価額が現在の株価水準に比べて低いことから、満期に額面を受領するのではなく、その保有分の全てを転換する可能性が高いと理解しており、満期日である 2015 年 9 月 28 日前までに債務超過が解消される可能性が高いものと見込んでいた旨をお知らせしました。

ただ正確には、GINSMS が債務超過となっていたのは、転換社債の存在のみによるものではなく、損失額の拡大などの要因にもより、連結貸借対照表上の当該転換社債を含む負債の総額が、資産の総額を上回っていたためです。

2015 年 7 月 22 日に開示された GINSMS の 2015 年 3 月期の連結財務諸表では、同社の債務超過額は、第 2 項「(9) 当該会社の最近 5 年間の連結経営成績及び連結財政状態」のとおり 10.1 百万カナダドル (925 百万円) となっており、また同社が 2015 年 8 月 17 日に開示した同社の 2016 年 3 月期第 1 四半期の連結財務諸表では、同社の債務超過額は 10.9 百万カナダドル (998 百万円) となっています。そのため現在の転換社債の保有者が、その保有する転換社債をすべて転換したとしても、現時点では、約 3 百万カナダドル (275 百万円) の債務超過額が残る見込みです。

2014 年 3 月期と比較して 2015 年 3 月期の債務超過額が増加している主な理由は、売上総利益の減少 (0.5 百万カナダドル (46 百万円))、現在の A2P 事業に直接関係がない、のれん及び無形資産

(3.2 百万カナダドル (293 百万円)) を減損していること及び転換社債の計上額を額面金額まで近づけるための調整額 (1.4 百万カナダドル (128 百万円)) を計上しているためです。

また GINSMS が、2013 年 3 月期より債務超過となった主な理由は、連結損益計算書の損失額の増加によりますが、その主な要因の 1 つとして、上記転換社債の計上額を額面金額まで近づけるための調整額があったことも挙げられます。

現在の転換社債の保有者は、額面金額 6.3 百万カナダドル (577 百万円) を保有する新華モバイル及び額面金額 2.9 百万カナダドル (266 百万円) を保有する IPL です。当該転換社債は、無担保型で満期日の 2015 年 9 月 28 日までに、0.10 カナダドルにて GINSMS の普通株式 1 株に転換することができます。2015 年 6 月 3 日に GINSMS は、転換に関する諸制限を撤廃することについて株主から承認を得ているため、現在はいつでも自由に転換ができます。新華モバイルは、可能な限り速やかに転換する意向であります。また、当該転換社債は、現在の GINSMS の株価水準に比べて低い 0.1 カナダドルにて GINSMS の普通株式 1 株に転換することができるため、当社としては、IPL も満期日までに転換する可能性が高いと見込んでいます。

新華モバイルが、その保有するすべての転換社債を 62,554,840 株の新株に転換し、一方の IPL が一切転換しなかった場合、新華モバイルの GINSMS に対する持分は、79.48%となります。本件転換社債の保有者である両社が共に、保有する転換社債のすべてを 91,092,670 株の新株に転換した場合、新華モバイルの GINSMS に対する持分は、63.58%となります。

4. 今後の見通し

本件が 2015 年 12 月期の業績予想に与える影響は、精査が完了次第速やかにお知らせいたします。

(注) 適用為替レート：1 カナダドル=91.59 円 (2015 年 8 月 31 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場 (仲値))

以上



新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主に中国及び日本を含むその他のアジアの地域において、金融サービス及びパブリックリレーションの事業分野において商品及びサービス並びにスマートフォン、テレコム・ソフトウェア・プラットフォーム、グローバル・メッセージング・ゲートウェイ及びモバイル広告プラットフォームの開発及びオペレーションを提供しています。東京証券取引所の第二部市場に上場（証券コード：9399）しており、香港に事業本部を構え、中国及び日本に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：<http://www.xinhuaholdings.com/jp/home/index.htm> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。